



慎重審議一年有半

新町界・町名案成る

II 鳥取市町界町名地番整理委員会

何故整理が必要か

昭和27年4月の鳥取大火にて、市街中心地の大半が焼失しましたが、これが復興に当たっては、近代都市建設の要請に基づき、都市計画による鳥取火災復興土地区画整理事業が認証され、七割五分の国庫補助及び県補助を以て事業は着々進捗し、現在約九四%の復興を示し、この五ヶ年間に街の面目は全く一新されました。然るに事業の遂行に伴って、多年市民各位に馴染まれて来ました、旧来から道路や公共空地等は、多くその形状を改めて規正され、その上幅員も拡大されて部分的に形状が著しく変動されてきましたが、同時に総ての宅地割も更新された結果、従来の宅地と宅地を自然と区分していった町界や、廻道となつた町界が、換地処分に伴う筆の清算にも不要の手数を要する事となりますので、好むと好まざるにて、換地処分に伴う筆の清算にも不要の手数を要する事となりますので、あるため、余りにも小さな町が多過ぎたり、町村合併によりまして、其の区域が徒らに大きくなり、外であったものが街の繁栄を阻んでいたため、余りにも華街となつたり、町村合併によって、その他の場合は土地番が存在して調査に困難であるとか、又類似していいる町名があつたり、使制限をうけている漢字

昭和27年4月の鳥取大火

火災復興土地区画整理事

業が認証され、七割五分

の国庫補助及び県補助を

以て事業は着々進捗

し、現在約九四%の復興

を示し、この五ヶ年間に

街の面目は全く一新され

ました。然るに事業の遂行に

伴って、多年市民各

に馴染まれて来ました、

旧来から道路や公共空地等

は、多くその形状を改め

て規正され、その上幅員

も拡大されて部分的に形

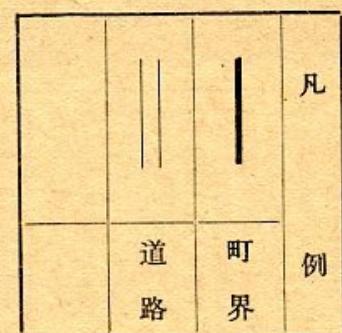
状が著しく変動されて來

ました。然るに事業の遂行に

伴って、多年市民各

に馴染まれて来ました、

鳥取市町界・町名・地番整理図 小委員会案 (略図)



(主 要 街 路 のみ 記 入)

